

一般社団法人日本樹木医会 愛媛県支部 令和7年度第2回研修会概要

テーマ:キンモクセイの診断と樹勢回復について

キンモクセイは中国原産の常緑小高木で、暖地を好み、寒さにはやや弱いことから関東地方以西の地域での栽培が適しており、愛媛県でも幅広く庭木として植えられている樹種の一つである。

県内に存在するキンモクセイとしては、「王至森寺のキンモクセイ」がわが国有数の巨樹・老木であり、昭和2年に国の天然記念物に指定されているが、近年、衰弱がみられている状況にある。そこで、王至森寺のキンモクセイの診断や樹勢回復のための対策について調査研修を実施し、キンモクセイに関する理解を深める。

1 開催日 令和8年3月8日(日) 13:30~15:45

2 開催場所及び内容

○ 技術講習 13:30~14:30

・場所 愛媛県西条市飯岡 3021 王至森寺

・説明者 高田 俊彦(愛媛県支部 樹木医)

○ 現地調査研修 14:45~15:45

・場所 愛媛県西条市飯岡 3021 王至森寺内のキンモクセイ

・説明者 高田 俊彦 (愛媛県支部 樹木医)